



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.2)

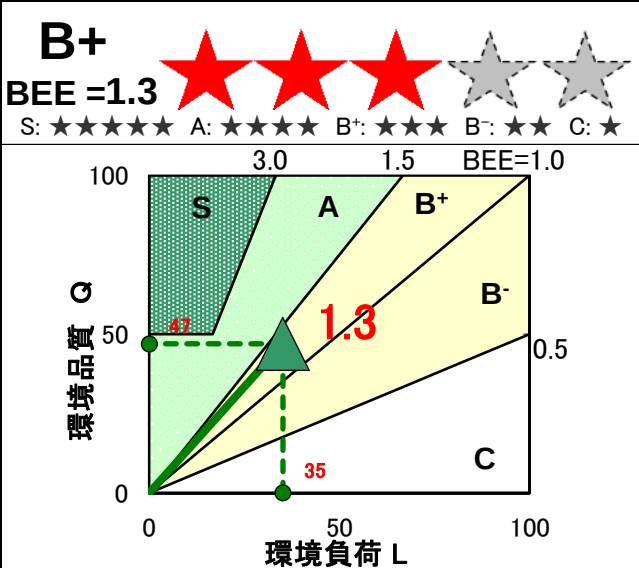
1-1 建物概要

建物名称	(仮称)東淀川区下新庄3丁目計画 新築工事		
建設地	東淀川区下新庄3丁目		
建築用途	集合住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	13,696.80	m ²	
建築面積	3,716.12	m ²	
延床面積	29,697.73	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上14階
完了年(予定)	2022年5月		

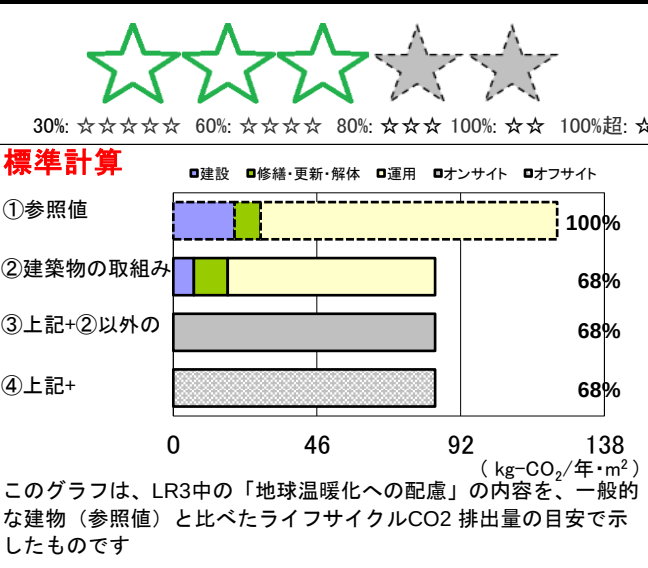
1-2 外観



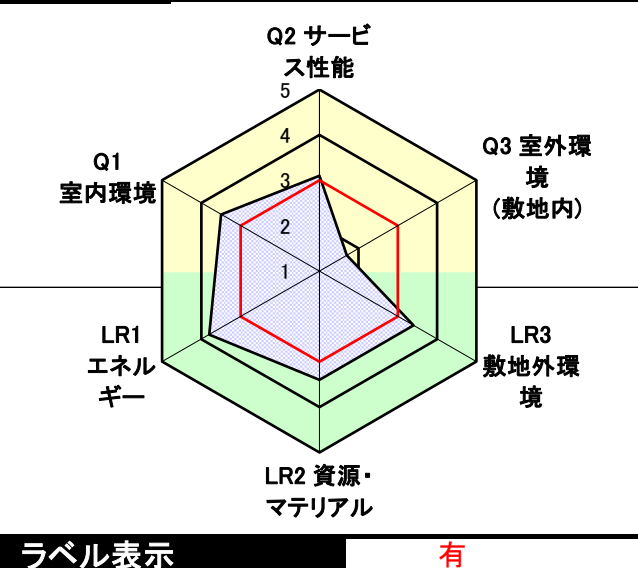
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



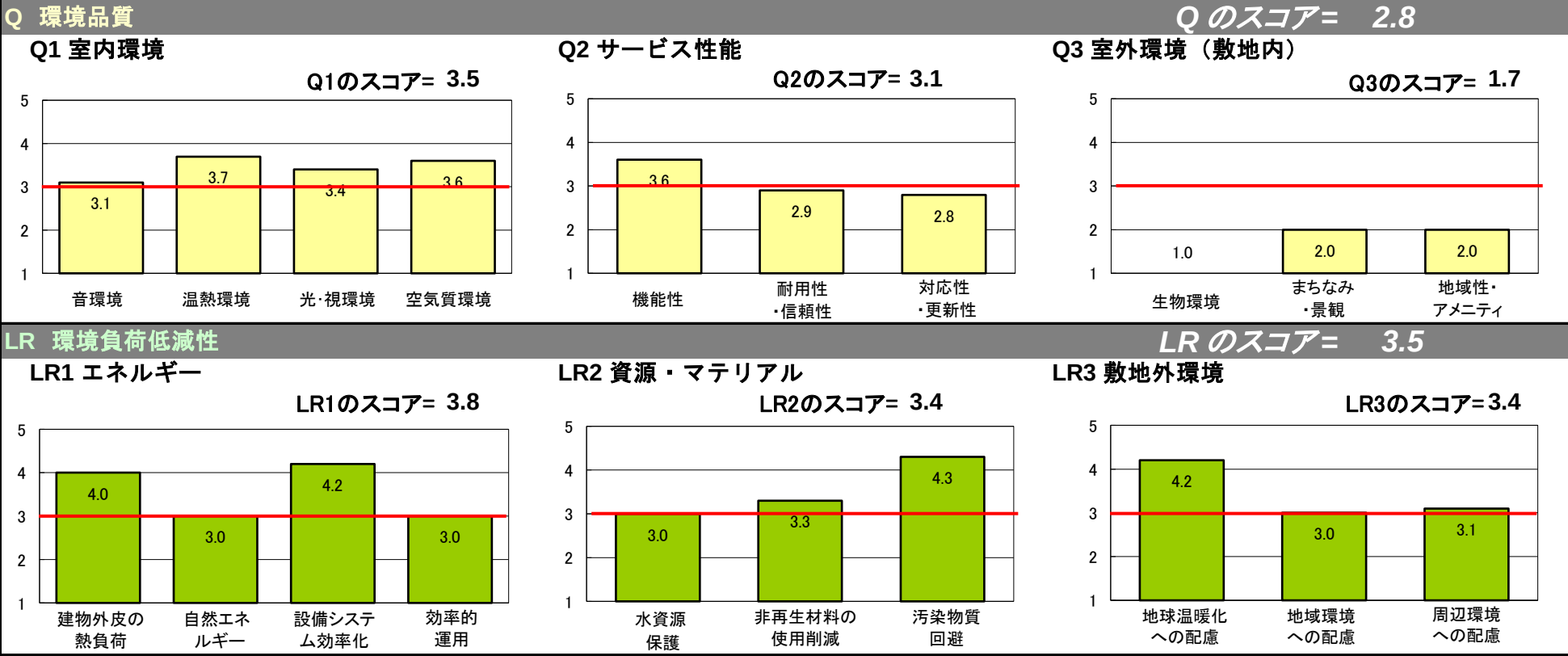
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 機能性を向上する設備機器を敷設し、温熱環境や建材の有害性に配慮した計画とすることで、長期的に良好な住環境を得られるよう努めている。		その他
Q1 室内環境 ・室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3の取得を予定、耐久性に優れた建築としている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周辺に緑地を設け、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー 断熱性能等級4を取得予定。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材種別を採用している。	LR3 敷地外環境 適切な駐車スペースを確保し、敷地内外の環境に配慮した計画を行っている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.3

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.2
配慮事項		

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	4.2
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） 等級4 （相当）	非住宅部分[BPI][BPI _m] -	
	建物全体[BEI][BEI _m] 0.89	住宅部分[BEI] 0.89	非住宅部分[BEI][BEI _m] -
一次エネルギー消費量			

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽光発電設備用）

1 設備導入の検討

① 周辺環境の把握

② 日照条件の検討

ア 検討対象とする場所	☒ 屋根部 地上高さ（ 41 ）m ☐ 地上部 （ ☐ 空地部分 ☐ その他 ） ☐ 壁面 ☐ その他 （ ）																				
イ アの周囲における日射遮蔽物	☒ なし ☐ あり <table border="1"> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> <tr> <td>方位</td> <td>（ ）</td> <td>高さ（約 ）m</td> <td>水平距離（約 ）m</td> </tr> </table>	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m	方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
方位	（ ）	高さ（約 ）m	水平距離（約 ）m																		
ウ 日照の確保（冬至）	☒ 十分 ☐ 不十分																				

③ 日照条件に適合する場所の検討

ア 設置可能面積等	（ 417.9 ）㎡方位（ 真南 ） 設置角度（ 30 ）度
イ 設置可能太陽光パネル面積	（ 167.2 ）㎡
ウ 設置可能容量	（ 25.1 ）kw
エ 利用設備に対する荷重対策	☐ あり ☒ なし
オ 設置に備えた対応	☒ なし ☐ あり （例：設備用基礎の設置） （ ）

④ 導入判断

検討結果 ☐ 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

☒ 導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

- ☐ 日照が確保できない
☐ 躯体が荷重に対応できていない
☐ 敷地内に設置する場所を確保できない
☒ 費用負担が大きい
☐ 本計画では見送るが、将来対応可能とする
☐ その他 （ ）

2 導入する設備の概要

ア 太陽光パネル面積	（ ）㎡
イ 発電容量	（ ）kW

備考

注 2ア 太陽光パネル面積が、1③イ 設置可能太陽光パネル面積と大きく異なる場合、備考欄にその理由を記入してください。

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

1

設備導入の検討

①

周辺環境の把握

②

日照条件の検討

ア

検討対象とする場所

■

屋根部

地上高さ（

41

）m

□

地上部

（

□

空地部分

□

その他

）

□

壁面

□

その他

（）

イ

アの周囲における日射遮蔽物

■

なし

□

あり

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

方位

（）

高さ（約）m

水平距離（約）m

ウ

日照の確保（冬至）

■

十分

□

不十分

③

熱需要の条件等の検討

ア

建築物の用途

集合住宅

イ

熱需要対象用途

□

冷房

□

暖房

■

給湯

□

その他

（）

ウ

設置可能面積

（

417.9

）㎡

エ

概算年間熱利用量

（

909,768

）MJ/年

オ

利用設備に対する荷重対策

□

あり

■

なし

カ

設置に備えた対応

■

なし

□

あり

（例：設備用基礎の設置）

（）

④

導入判断

検討結果

□

導入する

→具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入

■

導入しない

導入を見送る理由（複数選択可）

□

日照が確保できない

□

年間を通じて安定した熱需要がない

□

躯体が荷重に対応できていない

□

敷地内に設置する場所を確保できない

■

費用負担が大きいの

□

本計画では見送るが、将来対応可能とする

□

その他

（）

2

導入する設備の概要

ア

集熱パネル面積

（）㎡

イ

概算年間熱利用量

（）MJ/年

ウ

熱需要対象用途

□

冷房

□

暖房

□

給湯

□

その他

（）

備考